

グループワーク実施方法（例）について

今回、九州工業大学 A0 入試で実施するグループワークは、次に示す手順で作業をおこないます。当日も、実施方法を説明しますが、予め目を通しておいて下さい。例題等は九州工業大学 HP に公開していますので、参考にして下さい。

1. 課題の呈示

当日、課題解決型記述問題が終了後、グループワークの課題が提示されます。グループは、3-6 人の受験生と 1 名のファシリテータ（教員）からなります。

2. （作業 1）個人でのアイデアの抽出【3分】

（作業 2）のアイデアの抽出の準備の為の準備をします。まずは、個人で配布された用紙にアイデアを記述します。

3. （作業 2）アイデアの抽出【5分】

与えられた時間内で、1 人ずつ順番に、1 つずつのアイデアを出していきます。次のルールに従い、出来るだけ多くのアイデアを出して下さい。この方法は、ラウンド・ロビン法と呼ばれるアイデアを出していくための方法の 1 つです。

【ルール】

- ・ 一度に出すアイデアはひとつずつ、ファシリテータの左から順番に出していく。
- ・ 参加者のアイデアが枯渇した場合には、次の参加者に順番を渡す。
- ・ できるだけ多く、速く、頭から絞り出す。
- ・ この作業の間は、相手のアイデアに対するコメント等はしない。
- ・ アイデアは、発言者がポスト・イットに簡単に記述し、目の前の模造紙に貼る。

4. （作業 3）グループ分け【15分】

（作業 2）で抽出されたアイデアを分類します。2 つの異なる軸を用意し、4 つの象限に出来る限り、アイデアが拡がるように分類します。模造紙の上に、おおきく 2 つの軸を用意して、アイデアを記述したポストイットを 4 象限に貼りながら、2 つの軸をグループ毎に決定し、更に分類を進めていきます。分類の過程で、新しいアイデアがあった場合には加え、更に、グループ分けされた課題を整理していきます。

（作業 4）の報告をおこなうグループ代表者も決定します。

5. （作業 4）報告【2分】

グループ毎に、グループ代表者を中心にしながら、ファシリテータにどのように分類したかを報告します。

6. （作業 5）振り返り【5分】

参加者に対するピアレビューと協働作業の中で獲得したもの、新たに気がついたこと、今後への反省点などを記述してもらいます。

グループワーク活動・自己評価シート（例）

※ 試験当日は、実施方法は同じですが、問いは同一ではありませんので、ご注意ください。

題材（例題）：これまで無くなってきた職業、これから無くなる職業

新技術の進展やライフスタイルの変更の中で、これまで無くなってきた、あるいは、必要性が減ってきた職業やこれから先、無くなる、若しくは、需要が減っていくであろうと考えられる職業について整理してみよう。

（作業1）題材が対象としている職業について列挙せよ。

（作業5） このグループワークに参加した後、下記の問いに答えよ。

問1 今回のグループワークの中で、解答者が特に獲得できたといえる点をひとつ挙げ、理由を付して記せ。

問2 グループワークの中で、解答者自身及びグループ参加者が果たした役割について、理由を付して、記せ。

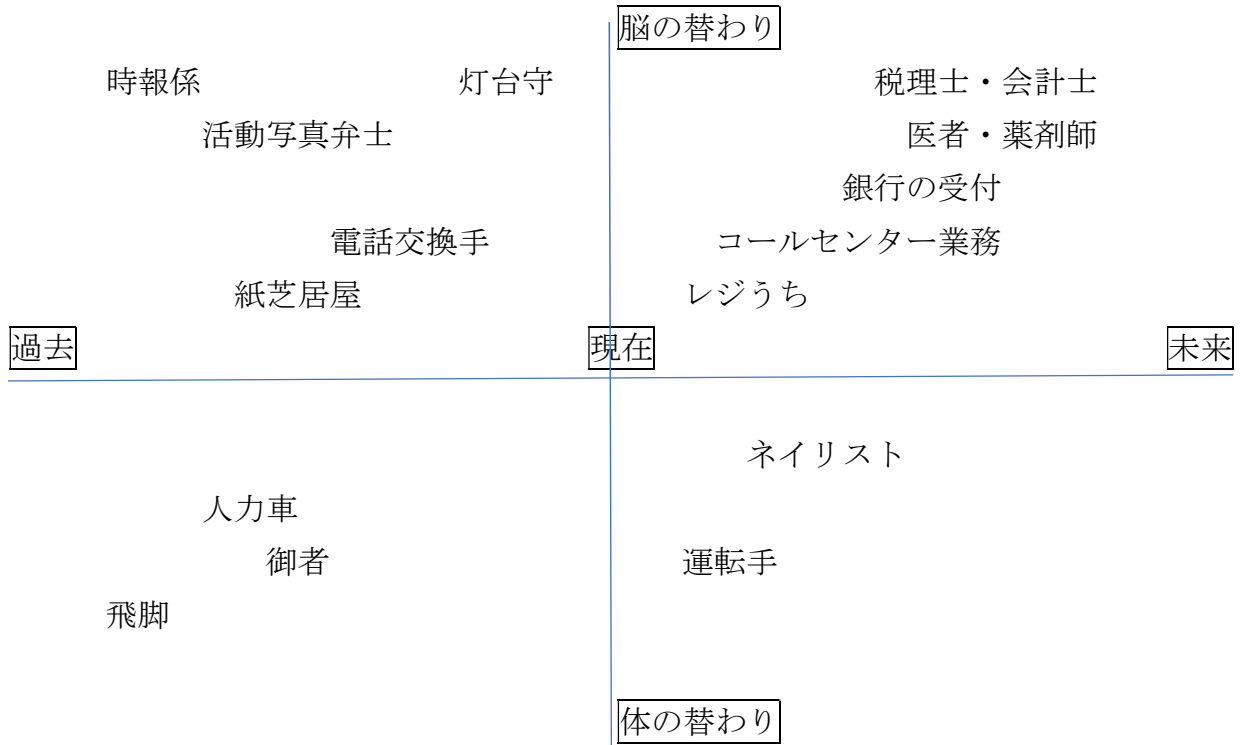
問3 今後、グループワークに参加する際に、更に協働活動を活性化し、有益な作業や意見を産み出すために解答者自身が何に注意して活動するとよいと考えるか、理由を付して記せ。

グループワーク実施（例題）

題材（例題）：これまで無くなってきた職業、これから無くなる職業

新技術の進展やライフスタイルの変更の中で、これまで無くなってきた、あるいは、必要性が減ってきた職業やこれから先、無くなる、若しくは、需要が減っていくであろうと考えられる職業について整理してみよう。

（解答例1）



（解答例2）

